



平成 20 年 4 月 28 日

各 位

会社名 株式会社東京自働機械製作所
代表者 代表取締役社長 市川 孝
(コード番号 6360 東証2部)
問合せ先 総務部長 谷口 輝雄
(TEL. 03-3866-7171)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 19 年 10 月 26 日に公表した平成 20 年 3 月期（平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日）の通期の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 当期の業績予想数値の修正（平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日）

連結：

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	8,749	△18	79	44	3円07銭
今回修正予想 (B)	9,611	212	314	49	3円45銭
増減額 (B-A)	862	230	235	5	
増減率 (%)	9.9	-	297.5	11.4	
(ご参考) 前期実績(平成 19 年 3 月期)	11,645	371	458	136	9円52銭

個別：

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	7,719	△188	△73	△67	△4円63銭
今回修正予想 (B)	8,224	29	154	33	2円30銭
増減額 (B-A)	505	217	227	100	
増減率 (%)	6.5	-	-	-	
(ご参考) 前期実績(平成 19 年 3 月期)	10,174	213	326	108	7円49銭

2. 修正の理由

平成 20 年 3 月期当社の個別業績予想は、増収増益となる見込みですので、業績予想の修正を行います。

売上高

包装機械部門は、顧客の設備投資意欲が堅調に推移しており、受注が順調なことから増収となる見込みです。

生産機械部門は、たばこ関連設備機器、古紙圧縮梱包機、非鉄金属圧縮梱包機、各種組立機械の売上が増加していること、大型プロジェクトの売上が予想を上回ることから増収となる見込みです。

営業利益、経常利益

売上高の増加に伴う売上総利益が増加することと、経費削減策の効果により予想を上回る見込みです。

当期純利益

棚卸資産廃棄損 1 億 4 千 3 百万円(連結も同様)や税効果会計上の税負担が増加したことにより微増にとどまる見込みです。

これに伴い、連結通期予想も個別通期業績予想と同様の理由により修正いたします。

【見通しに関する留意事項】

本資料における業績の見通しは、当社が発表日現在で入手可能な情報による判断、過程及び確信に基づくものであり、今後の経済情勢、事業運営における内外の状況変化、あるいは、見通しに内在する不確定要因や潜在的リスク等によって、実際の業績は見通しと異なる場合があります。

以上